

例会日：毎週木曜日 18時30分 例会場：関観光ホテル 住所：岐阜県関市池尻 91-2
事務局：岐阜県関市下有知 1655-1 山田ビル 1階D室 TEL (0575) 24-7332 FAX (0575) 23-5278
会長 土屋 敏幸 副会長 波多野 篤志 幹事 伊佐地 司 クラブ会報委員長 後藤 政之

2021~2022 年度 関中央ロータリークラブ会長テーマ
「みんなで考えよう 未来へ繋ぐために」



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

4つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 第2069回例会 2022年6月23日(木) クラブ創立記念例会
会員卓話 次期周年事業提案特別部会 部会長 吉田 和也君
テーマ「関中央RCの歴史と50周年に向けて」 担当 会長・幹事・親睦活動委員会

前例会の記録 第2068回 2022年6月16日(木)
C. A 反省と次年度への提言 担当 会長・幹事

*ロータリーソング「我等の生業」斉唱

*お客様の紹介

東海北陸道グループガバナー補佐 村下 侑刑様

*会長あいさつ 土屋敏幸会長

皆さん、こんばんは。本日のお客様は東海北陸道グループガバナー補佐 村下 侑刑様です。お忙しい中お越し頂き誠にありがとうございます。後ほど、助言及び総評を宜しく申し上げます。本日のプログラムは、C. A 反省と次年度への提言です。発表されるのは、社会奉仕・環境保全委員長 山本義樹さん、会員基盤増強維持委員長 川村紳一さん、45周年式典・祝賀会実行委員会・親睦活動委員長 古田博文さん、クラブ研修リーダー 川上勉さんの4名の先輩方です。今年度もコロナ禍の影響を受ける中、皆さんのご尽力によって100%とはいかないまでも何とか活動を続けることができ



ました。本当にありがとうございました。

さて、困ったことに話すネタがなくなっていました。波多野好文先輩にインターネットから探して話せばいいとアドバイスを受けていたのですが、なかなか興味のあるものが見つかりません。仕方がないので、少し仕事の話をしませう。

皆さんは10月から、ご自宅の火災保険の契約期間が最長10年から5年に変更されるのをご存知ですか？火災保険は2015年に最長36年の長期契約から最長10年に改定されました。今回の改定も大規模な自然災害が相次いでいることが背景にあります。なぜ災害が多く発生しているかは地球温暖化による異常気象の影響が大きいと言われ、今後も想定を上回る災害が発生する可能性が高いというのが専門家の見解です。

損害保険料算出機構によると2018年に支払った保険金は7079億円にのぼります。保険金の支払いが増加することで保険会社の収支が悪化し、保険を提供することが難しくなります。そこで収支改善を目的として保険期間を短縮することで契約更新の機

会が増え、保険料を値上げするには好都合なので、料率改定の効果は満期後になるからです。

もうひとつは、ハザードマップ連動型の火災保険に移行する動きがあります。これまでの火災保険の水災リスクは、全国一律で保険料が算出されていました。標高が高く水災の発生リスクが低い土地と埋立地や河川に近い水災リスクが高い土地の保険料は同じでした。過去に保険金を支払った住宅は、ハザードマップで危険地域に該当していることが明らかとなり、ハザードマップ連動型が合理的であるという見方が強くなっています。

現在、私は近々に満期を迎えるお客様に10年長期契約をおすすめしています。10月以降に満期がくる人も9月30日から10年という提案もします。ただ、10年一括払ですので、一時的に保険料負担が多くなりますが、払い込み保険料総額でみればかなり安くなるのではないのでしょうか。

*C. A 反省と次年度への提言

社会奉仕・環境保全委員会

山本義樹委員長

本年度社会奉仕・環境保全委員会を担当させて頂きました。会員の皆様には何かとご協力、お手伝いをいただき大変ありがとうございました、

社会奉仕・環境保全委員会は対外事業を多く抱えておまして皆様のご協力なしでは進められない委員会でございます。本年度も多くの方の参加によりまして無事、事業を終えることができました。心からお礼を申し上げます。

2021年11月に開催させて頂きましたふどうの森における森林整備例会では里山の保全をテーマに、里山ネットワークの皆様、関商工インターアクト会員、特定非営利活動法人子援隊の皆さん、関中央RC会員による総勢65名参加により、山の下刈りに汗を流していただきました。

今から18年前より開催している非常にロングランの事業でございまして当初は山で松茸狩りを開催しようと企画をしたのが発端だったと思いますが、現在、毎年植樹をしたモミジや桜が大きく成長をして来ています。作業内容は山の下刈り、植樹、自然観

察、里山巡りなどを行い終了後、反省会を行っています。従来は全員でバーベキューを行いました。コロナ感染対策の為、残念ながら本年は弁当支給とさせて頂きました。コロナが落ち着いて来たなら昼食会は是非全員でのバーベキュー大会を復活させたいと思います。

また、年度当初は例年開催しております、ひとり親家庭子どもキャンプの予定を考えておりましたが、コロナ蔓延の真ただ中で本年度は開催を保留とさせて頂いた事をお詫びさせていただきます。

そして、本年も関市子ども家庭課を通じましてお米の寄贈をさせていただきました。お米はひとり親家庭の支援の一環として毎年事業を継続しております。本年も小川糧司会員の田地をお借りして600坪の作付けを行いました。会員の皆様には暑期中、何度か草刈り作業のお手伝いをいただきました。

従来、はつしも(銘柄)を準備していましたが、収穫時期が遅いため本年は早めに納品出来る、あきさかり(銘柄)を作付けして、11月初旬に8俵のお米を精米して尾関市長様にお届けする事ができました。また、関市担当者の長崎様より来年も予定させて頂いても良いですかとのお話がありましたので、これは継続事業ですから宜しくお話しさせていただきます。米作りのご指導を戴きました小川糧司会員にはあらためてお礼申し上げます。

環境保全事業では山紫水明の関市内を流れる長良川の自然環境の大切さを学び、愛着心と郷土愛を育むをテーマにして、2021年11月に長良川流域クリーン作戦、2022年6月には長良川水質環境調査を長良川環境レンジャー協会の協力のもと開催させていただきました。クリーン作戦には環境レンジャー5名、岐阜県環境課1名、関市環境課4名、関市スポーツ少年団12名、RC会員19名の計41名の参加を頂き38キロのゴミ回収をいたしました。水質環境調査には暑い中でしたが46名参加がありました。

土屋会長をはじめ会員の皆様には一年にわたり大変なご協力とお世話になりましたことに厚くお礼申しあげ報告とさせていただきます。



会員基盤増強維持委員会

川村紳一委員長

会員基盤増強維持委員会の反省と次年度への提言を発表させていただきます。会員増強を柱として



全会員を5グループに分けて毎月1回理事・役員会で状況を報告する事にしてグループを会員基盤増強維持委員会3名、会長、幹事の5名をリーダーとして活動するにあたり新会員候補者推薦名簿を作成し、各グループに関連がある候補者を割り振り、各グループまたは1~2グループ合同で意見交換、作戦会議、懇親会等を企画し行動を起こしましたが、コロナウイルス感染拡大に伴い例会が出来ない、奉仕活動の縮小、社会奉仕の縮小等前半は思うように活動が出来なかったと思います。後半に関しても良いところまでいくのですが、最後の詰めで入会辞退の結果に成りました。この要因としては会費の問題、1人経営者で出席が困難、元会員の二代目がロータリーに関心が薄い等々これらの問題を含めて、今後の会員増強の参考になればと思います。

関中央ロータリークラブもここ6~7年会員数が33~30人と推移し30名を切る状況になりました。各委員会の行事を推し進める為には、会員増強が必須条件になると思います。

4月の地区研修協議会の会員増強分科会に出席し、会員増強に関する協議会の中で来年度の委員会テーマ「1人の会員が1人を誘おう」です。

では、なぜ会員増強は必要か

1. 人との出会いは、人生において最も重要
2. 多くの学びにより、自己研鑽の道場となる
3. 親睦・奉仕を通じ地域の繋がりが出来る
4. 会員基盤の充実は多くの親睦奉仕に繋がる
5. クラブ存続の為、会員増強は必要なものまさに当然な事だと思いました。

増強委員会からは、クラブに対してのお願いとして

1. 女性会員1名を含む純増1名以上の増強
2. 増強活動中、衛星クラブの候補者も考える
3. 委員会は5名以上で組織し、常に被推薦者の候補リストを共有する
4. 委員長は会長、幹事と連携し、懇親・親睦会等

を行い退会防止に努力する

この4項目はC.A新年度活動方針に共通するところがあると思います。

いずれにしても今年度は思う様に会員増が出来ませんでした。来年度以降も会員増強の為に外に向けたPR・新聞に奉仕活動等載せる・魅力ある例会に候補者、友人、知人を招待・オープン例会の開催(地域団体のリーダー、マスコミ関係)・地場産業(刃物関係)等々色々な所からアプローチして、来期もグループ分けして、会員同士意見交換を活発に、会員増強を推し進めて頂ければと思います。

親睦活動委員会

45周年式典・祝賀会実行委員会

古田博文委員長

もうすぐ後期高齢者たる老人の部類に入り、ロータリー歴33年。

ここでの親睦の委員長は体力的にきついものがありました。しかしながらコロナ禍の中では正直何も出来ないだろうと高をくくってしまいました。合わせて45周年の実行委員長の役目も頂き、大変有難く感じておりました。この歳になると反省なるものは出来ないというよりしない事にして居ります。やるだけやった思いです。もっと委員長の経験の少ない若いメンバーにどんどん思い通りに委員会活動をして頂き、そのサポート役が私には、特に高齢会員には合っていると感じています。

川上勉クラブ研修リーダー

2019年~2020年から3年間クラブ研修リーダーを務めさせて頂きました。初年度は、クラブ研修リーダー設立趣旨を、当時の刃田情報委員長の説明を引用して会員の皆さんに説明させて頂きました。

又、私がクラブ研修リーダーの指名を受けた時は、新旧委員長会議の後でしたので、クラブ研修リーダー初年度の活動をいろいろ考えてみましたが・・・とりあえず入会間もない会員の皆さんに今日からロータリアン(ロータリー情報研究会)を配布いたしました。後に全会員に配布する様指示がありメールにて配布しました。

2期目に入り、コロナ禍 地区からの情報がありましたので、新旧委員長会議にてクラブ運営について、



常々考えている事を資料にまとめ表紙のロータリーの樹・2008を取り合いにロータリーの本来の活動の流れ及び5大奉仕委員会活動のおさらい・活動計画についてお話をさせて頂きました。

その中で、変えてはならないこと・ロータリーの2つの標語
第1の標語「超我の奉仕」・(人道的奉仕理念)

第2の標語

「最も多く奉仕するもの、最も多く報われる」・(実践的奉仕理念)

変えなければならないこと・(クラブの管理運営・奉仕活動の実践)

クラブの管理運営を長年変更せず放置し置くと、クラブは疲弊するばかりです。

奉仕活動の実践はその時のニーズの変化に従って柔軟に対応すべきと。

お話をさせて頂きました。

しかし、会長・幹事はじめ各委員長の皆さんが趣旨に沿っていろいろと計画して頂きましたが、コロナ禍、各委員会活動が縮小され残念でした。

次年度への提言(例会の在り方)

日本ロータリー100周年ビジョン策定委員会のアンケート結果に注目した事項がありました。

質問・・・ロータリーを続ける理由の問いに対して

1. 異業種交流、70.8%
2. 生涯の友人が70.0%でした。

この結果によると、会員は週一回の例会に集い、**例会の場で、職業上の発想及び意見交換を通じて、事業の持続性を学び、友情を深め、自己改善を計り、その結果として奉仕の心が育むことだと考えられます。**

ロータリーでは例会を「親睦」の場と位置付けている様です。毎週の例会で高められた奉仕の心を持って、それぞれの家庭、職場、地域社会で奉仕活動を実践する事。

これが理想とされる ロータリー・ライフと思います。

そこで、毎週の例会をいかにして「親睦」が図れる環境を整備することが大切だと思います。

毎週の例会は、奉仕活動ではありません。「親睦」と「奉仕」は相互に支えあいながら 回転する車の両輪であると思います。

以上の観点から例会運営の刷新を次年度の役員の皆さんに期待し次年度への提言にかえたいと思います。

*助言及び総評

ガバナー補佐 村下 侑刑様

3年間程度コロナ禍が続いておりますが、コロナ禍により事業をやっているのかどうなのか、



例会一つとっても制約があり非常に気をもむことが多かったかと思います。その中でオンライン開催等の工夫でこの期間を乗り切るというクラブがほとんどあったと思います。また、親睦は、飲食がまず第一ということでやるわけですから古田親睦委員長も大変開催には苦勞されたと思います。

社会奉仕委員会では、お米を8俵ほど収穫し市に寄付、森林整備、長良川の水質調査等いろいろな事業をされてみえるとお聞きしましたが、困難な中でもそういうことを工夫しながら考えていくことは大変だったと思います。

クラブ活動は、まず親睦と奉仕ということでございますので、和やかに楽しく奉仕活動を行って苦勞があっても大きい達成感もあるかと思っておりますので、今後においてもぜひ頑張ってください。

*出席委員会

会員数30名、本日の出席19名です。

*ニコボックス委員会

・東海北陸道グループガバナー補佐 村下 侑刑様
今日はガバナー補佐としてのクラブ訪問は最後となりました。1年間何かとご協力賜り感謝申し上げます。関中央RC様の益々のご繁栄発展を心からお祈り申し上げます。

・会長・副会長、幹事

本日のプログラム、発表者の皆様どうぞよろしくお祈り申し上げます。

20名のご投函ありがとうございました。

<次例会の案内>

第2070回 2022年7月7日(木)

「通常総会・懇親会」

担当 会長・幹事・親睦活動委員会